



日々新たに

挑戦する心と相手を思う心

先日閉幕した東京オリンピックで私は選手たちから多くの感動とともに数々のスポーツマンシップが伝わる瞬間を味わいました。その中で特に印象に残ったことが二つあります。

まず一つは、挑戦する気持ちです。どの競技でも厳しい状況を乗り越えた選手たちが金メダルを目指して挑戦する姿に胸が熱くなりました。その選手たちの中でも特に忘れられないのは、スケートボード女子パークに出場した、金メダル最有力と言われていた岡本選手です。

岡本選手は最後のトリックで逆転をねらって大技に挑戦しました。しかし、結果は失敗に終わり、メダルに手が届きませんでした。大技に挑戦せず、銅メダルの3位をねらうこともできますと思いますが、彼女は最後まであきらめずに攻め続けました。そんな最後まで果敢に挑戦していた彼女の姿に胸を打たれました。

もう一つは、相手を思う気持ちです。先ほど紹介したスケートボード女子パーク決勝では、岡本選手が逆転をかけた大技に失敗して競技を終えた直後、ライバルたちが駆け寄り、抱き合いながら敗者の岡本選手を称えました。その彼女たちの多くは、10代の若者でした。柔道男子60キログラム級決勝では試合後、優勝した高藤選手と相手の台湾の選手が手を取り合って互いの健闘を称え合いました。陸上男子走り高跳び決勝では、決着をつける「ジャンプオフ」をしないことを決め、2人の金メダリストが同時に誕生しました。バレーボール男子では、日本に敗れたイラン

の選手たちが試合後、拍手で勝者の日本を称えました。彼ら・彼女らに共通するのは、相手への尊敬の念、心の深い部分で結ばれたライバルとの連帯、相手の痛みへの共感です。

このオリンピック選手たちから感じた、挑戦する気持ちや相手を思う気持ちは、中学校でも大切なことだと改めて思いました。今日から2学期が始まります。活動は制限されますが、ぜひ挑戦する気持ちを持ちましょう。ちょっとしたことで構いません。失敗しても大丈夫です。そして、相手を思う気持ちを育てていきましょう。頑張っている友達を応援したり、元気がない友達とは心の痛みを分かち合えたりしたらいいですね。(2学期始業式挨拶より抜粋)



おめでとう！ 吹奏楽部 金賞受賞

8月2日（月）に埼玉県吹奏楽コンクール西部地区大会が行われ、本校の吹奏楽部が金賞を受賞しました。コロナ禍の厳しい状況乗り越え、当日の発表は、会場みんなの心に響くようなとても素晴らしい演奏でした。



「埼玉県身体障害者福祉のための美術展」入選者

【特選】 3年 3名

【入選】 3年 12名

2年 15名

1年 2名



東京パラリンピック開幕

昨日24日（火）より東京パラリンピックが開幕しました。厳しい状況乗り越え、金メダルを目指して挑戦する選手たちの熱いドラマがきっと見られると思います。ちなみに、車いすバスケットボール女子に入間市出身の選手が出場します。小田島理恵選手です。実は、私の教え子でもあります。ぜひみんなで応援してもらえると嬉しいです。背番号は88番です。よろしくお願いします。



秋の読書 おすすめの一冊

瀬尾まいこ 著「あと少し、もう少し」です。寄せ集めの中学男子6人が駅伝の県大会出場を目指して襷（たすき）をつなぐ青春小説。

メンバー6人の人間模様が丁寧に描かれ、中学男子の複雑な心情が見事に表現されています。6人が力の限り襷をつなぐ姿に胸が熱くなります。自分も挑戦することをあきらめず、あと少し、もう少しだけ頑張ってみようという元気をもらいました。

新型コロナウイルス感染防止について 生徒の感染防止を図るため、8月31日まで午前中3時間の短縮授業となります。学校では生徒の安全を第一に感染防止対策を徹底してまいります。ご家庭でもお子様の健康管理をお願いいたします。ご理解ご協力ほどよろしくお願いいたします。詳細は本日本配布の保護者宛通知をご覧ください。

今月の言葉 「人生とは未知の自分に挑戦すること」 日野原重明（医師）